

KGブランドの確立

更なる経営基盤の安定強化を目指して

第V期中期計画の実行

教育の質保証
ガバナンス改革

令和2年1月から続いたコロナ禍は、社会経済をはじめ様々な方面に大きな影響を与えてきた中で、令和5年5月、新型コロナウイルスが感染法上5類に移行し新たなステージに入った。コロナを乗り越えた新たな日常の中で、本学院は、第V期中期計画が目指す、社会が求める教育の質保証やガバナンス改革を進め、社会やステークホルダーの負託に答えていく。

多様化する教育研究活動と環境整備の推進
コロナ禍を契機に、オンライン化が進み、教育研究活動が多様化する中で、それに対応するための環境整備も推進してきた。こうした授業体制を支えるため、光ケーブルの敷設や無線LANのアクセスポイントの設置、WiFi環境の整備等、情報通信ネットワークの構築に係る施設環境整備に取り組み、授業や自主学習の改善に大きな効果をもたらすことができた。

また、オンライン・パブリックの選手村で使った机や椅子、アクリル板のパーティションを、大会終了後、譲り受け、大宮キャンパスや伊奈キャンパスの食堂や図書館等で有効活用を図っており、「安心

れに対応するための環境整備も推進してきた。こうした授業体制を支えるため、光ケーブルの敷設や無線LANのアクセスポイントの設置、WiFi環境の整備等、情報通信ネットワークの構築に係る施設環境整備に取り組み、授業や自主学習の改善に大きな効果をもたらすことができた。

また、オンライン・パブリックの選手村で使った机や椅子、アクリル板のパーティションを、大会終了後、譲り受け、大宮キャンパスや伊奈キャンパスの食堂や図書館等で有効活用を図っており、「安心

点検し教育の質向上や経営改善に向けた取組を推進していくため、評価項目に関連付けた指標を目標設定し、達成度を可視化していくこととしている。また、責任体制も合わせて明確にしていくことで、実効性やガバナンスの確保を推進していく。

ナレッジ・ビレッジ(さいたま国際知識村)「構想」の実現
コロナを乗り越えた新たな日常の中で、大学が地域と関わり、地域に貢献し、地域社会に果たす役割が新たに求められてきている。大宮キャンパス再開発計画は、大宮キャンパスを中心に、多様な人が集い、創造し、交流し、共有する場であるエリアづくりを実現しようとする「ナレッジ・ビレッジ(さいたま国際知識村)「構想」の実現と、本学が今後展開していく教育研

究の在り方を整合させるための施設整備の連動を目指しているものである。特に、コロナ禍以降、防災減災等の危機管理や持続可能な社会の構築といったSDGsの視点に立つ考え方が今以上に求められている。少子高齢社会が進行する中、産学官連携において、子育てや介護、健康長寿と

再開発構想とナレッジ・ビレッジ構想の実現に向け、今できることを着実に実行し、一つ一つ熟度を高めていくことが重要と考え

いう分野で「誰一人取り残さない」という理念の実践に果たす本学の役割は大きいものと考ええる。

短期大学では、教育研究に係る諸活動や学修成果の獲得状況、大学運営等に関する自己点検を行う過程において、大学の教育活動への学生の参画を促進するため、学生との意見交換会を毎年実施している。

令和5年度は幼児保育学科2名、健康栄養学科3名の合計5名の代表学生から

学生と大学が意見交換会

教育活動への参画促進

短期大学では、教育研究に係る諸活動や学修成果の獲得状況、大学運営等に関する自己点検を行う過程において、大学の教育活動への学生の参画を促進するため、学生との意見交換会を毎年実施している。

令和5年度は幼児保育学科2名、健康栄養学科3名の合計5名の代表学生から

「いつでも研究室で質問を」という分野で「誰一人取り残さない」という理念の実践に果たす本学の役割は大きいものと考ええる。

短期大学では、教育研究に係る諸活動や学修成果の獲得状況、大学運営等に関する自己点検を行う過程において、大学の教育活動への学生の参画を促進するため、学生との意見交換会を毎年実施している。

令和5年度は幼児保育学科2名、健康栄養学科3名の合計5名の代表学生から

「いつでも研究室で質問を」という分野で「誰一人取り残さない」という理念の実践に果たす本学の役割は大きいものと考ええる。

短期大学では、教育研究に係る諸活動や学修成果の獲得状況、大学運営等に関する自己点検を行う過程において、大学の教育活動への学生の参画を促進するため、学生との意見交換会を毎年実施している。

令和5年度は幼児保育学科2名、健康栄養学科3名の合計5名の代表学生から



5名の代表学生が学長や教職員と意見交換

国際学院創立60周年記念 公開講座

短期大学・中学校高等学校

卒業生・社会人に 生涯学習の機会を提供

〈短期大学

卒業生・社会人に生涯学習の機会を提供。本学院が設置する短期大学・中学校高等学校では、地域に広く公開し社会貢献するとともに、卒業生・社会人に対して生涯学習の機会を提供することを目的として毎年公開講座を開催している。

今年度は「浮沈子づくり」をテーマとした。今年度は「浮沈子づくり」をテーマとした。今年度は「浮沈子づくり」をテーマとした。



紅赤の調理講座
講師は田中特任教授

本学院が設置する短期大学・中学校高等学校では、地域に広く公開し社会貢献するとともに、卒業生・社会人に対して生涯学習の機会を提供することを目的として毎年公開講座を開催している。

今年度は「浮沈子づくり」をテーマとした。今年度は「浮沈子づくり」をテーマとした。今年度は「浮沈子づくり」をテーマとした。

今年度は「浮沈子づくり」をテーマとした。今年度は「浮沈子づくり」をテーマとした。今年度は「浮沈子づくり」をテーマとした。

今年度は「浮沈子づくり」をテーマとした。今年度は「浮沈子づくり」をテーマとした。今年度は「浮沈子づくり」をテーマとした。

今年度は「浮沈子づくり」をテーマとした。今年度は「浮沈子づくり」をテーマとした。今年度は「浮沈子づくり」をテーマとした。

今年度は「浮沈子づくり」をテーマとした。今年度は「浮沈子づくり」をテーマとした。今年度は「浮沈子づくり」をテーマとした。

今年度は「浮沈子づくり」をテーマとした。今年度は「浮沈子づくり」をテーマとした。今年度は「浮沈子づくり」をテーマとした。

今年度は「浮沈子づくり」をテーマとした。今年度は「浮沈子づくり」をテーマとした。今年度は「浮沈子づくり」をテーマとした。

第2回ホームカミング講座開く

「みんながって みんないい」

第2回目となる本講座は、本学卒業生を対象とした講座で、第1回目の講座は新型コロナウイルス感染症が

「みんながって みんないい」

第2回目となる本講座は、本学卒業生を対象とした講座で、第1回目の講座は新型コロナウイルス感染症が

「みんながって みんないい」

財務情報 決算総額約35億円

令和4年度の決算概況をお知らせします。資金収支計算書では決算総額は前年度と比較して、2億65百万円増の約35億円となりました。収入の部では、学生生徒等納付金収入は8億29百万円でした。支出の部では、伊奈キャンパスグラウンド補修工事、プロジェクト整備等の施設整備費、大宮キャンパスのエアコン交換などを行いました。また、事業活動収支計算書では、教育活動収支は27百万円の赤字、教育活動外収支は11



理科実験教室

第38回 幼児絵画展を開催

102園・所から 908点の応募 4年ぶり表彰作品を学内展示

幼児教育における表現活動への興味・関心を高め、県内幼児教育の振興に寄与することを目的とした幼児絵画展表彰式が11月12日に開催された。今年度で38回目を迎えるこの絵画展はコロナ感染拡大の影響により規模を縮小した上での開催となっていた昨年度までに、対して応募総数を増やし、4年ぶりに表彰作品の学内展示も実施した。

受賞した3〜5歳までの子どもたちは緊張の面持ちで会場を訪れ、保護者が見守る中で大野学長はじめ審査委員より賞状を授与された。子どもたちの中にはスーツを着用して元氣よく登壇する姿や、カメラを構える保護者の前で照れくさそうにポーズをとる姿があり、審査委員の「おめでとー」の言葉に背筋を伸ばして受け取った。中には緊張して泣き出し、保護者の方に抱かれて登壇する子どももいたが、温かく見守り応援する空気が会場を包んでいた。表彰式には埼玉新聞社、テレビ埼玉が取材に訪れ、絵画展スタッフとして参加した学生たちや教員一同、子どもたちの晴れ舞台に笑顔を見せていた。実施委員長を務めた中村敏男教授は「今年の作品は、見ただけで一人ひとりの感動や喜びが伝わってくる。これから誰かの絵を見ることを楽しんでほしい」と講評した。

本学における幼児絵画展は、昭和61年の第1回から、短期大学と同窓会「つくし会」が主催し毎年開催しているが、今年度は、埼玉県国立幼稚園・こども園長や全埼玉私立幼稚園連合



表彰式の様子

第30回 味彩コンテスト

SDGsの視点で調理



コンテストの調理審査風景

味彩コンテストは本年度、学院創立60周年と併せて第30回の記念となる節目を迎えました。埼玉県芸術文化祭2023協賛事業でもあり、さらに農林水産省関東農政局、埼玉県、さいたま市等の10団体から後援と、パレスホテル大宮等の6団体から協賛を頂き、同窓会との共催で開催させて

本年度は、一般の部「彩の国黒豚・埼玉県産たまご・埼玉県産野菜のいずれかを使用したご飯」に、高校の部「埼玉県産たまご・埼玉県産野菜・国内産豚肉のいずれかを使用した高橋生」を募集し、一般の部123名、高校の部1

61名から応募を頂きました。レシビ審査を通過した一般の部18名、高校の部10名の中から上位各6作品を選出し、8月31日に調理・試食審査を行いました。最優秀作品には、一般の部、ふじみ野市の池田初代さん「彩の国野菜もお肉もいただきます！梅のあんかけ蒸しハンバーグ」、高校の部、越谷総合技術高校の石川舞さん「埼玉の旬で心も体も元気に！弁当」が選ばれました。審査委員長の洪川祥子先生からは、「食べ物を作るということは、私たちの体を作るためだけではなく、人間関係をよくする、喜びを与える、文化を継承するなど、いろいろなことに部分的にも携わる技術を持っている」とい

教育実習を終えて 子ども一人ひとりに向き合う大切さ

幼児保育学科2年A組 峰岸菜々子



令和5年9月、2年間の学生生活で最後の実習を行いました。私は目標を2つ挙げていました。第一に信頼関係の構築、子どもたちのかかわりをどのように深められるかが重要でした。そこですべての子と毎日必ず1回は会話をしようという体的な目標を立てました。自ら話をしに来られる子どもだけでなく、人見知りしたり話すことが苦手な子どもにも積極的にかかわるように努めました。はじめはあまり

かかわりを持とうとしなかった子が、目を追うことに「おはよう」と挨拶をしてくれ、「先生、前髪切ったでしょ」と小さな変化に気づいてくれるようになりま

した。第二にピアノの練習をしつかりと重ねること。私はピアノが得意ではありませんが、実習前からコツコツ練習をして準備しました。実習の中で子どもたちは音楽が大好きであり、そこですべての子と毎日必ず1回は会話をしようという体的な目標を立てました。自ら話をしに来られる子どもだけでなく、人見知りしたり話すことが苦手な子どもにも積極的にかかわるように努めました。はじめはあまり

保育実習を終えて 身近な会話から生まれる信頼関係

幼児保育学科2年C組 長 楓華



日々の保育から子どもの性格や特性を観察しながら子どもと一緒に遊び、一人一人と関わることを意識しました。子どもとの関わりは身近なコミュニケーションから始まっていくと感じました。信頼を築くことで子どもが保育士に何でも話しかけに来てくれると思えました。片付ける時間が出てくることが大切だと思えました。私が現場にきたら子どもたちの個性を理解が向かない子どもがいまいた。私は片付けを促す言葉

掛けをしていましたが、子どもは絵本を読むことに夢中になっていました。そこへ保育者が来て、子どもが最後まで読むのを待ち、読み終わったら片付けを促す声かけをしました。すると、子どもは絵本を最後まで読むことが出来て満足したから、保育者の言葉を受け入れ、片付けを始めました。子どもたちの個性を捉えた声かけ・接し方を行っていることに保育には子ども一人一人にあった適切な関わりを見つけていくことが大切だと思えました。私が現場にきたら子どもたちの個性を理解が向かない子どもがいまいた。私は片付けを促す言葉

施設実習を終えて 日常にある工夫と学び

幼児保育学科2年B組 稲野 正子



私は8月に児童養護施設で10日間宿泊での実習をさせていただきました。5〜6人でユニット、全体で11ユニットに分かれて生活をしていて、私は家事や調理、子どもたちの宿題を見るなどの援助をしました。

特に印象に残ったことが、私の実習先の施設では1フロアに1人の調理師がつき、毎回の食事を用意していました。調理師がユニット部屋で調理をすること子ども達の食への関心

が高まることや、調理音などが子どもたちの耳にも届くようになるなど、家庭での暮らしの雰囲気近づける工夫を大切にしていることを学びました。

他に、天気が良い日は外で子どもと職員が一緒にスポーツをしたり、季節に合わせた施設の行事などを楽しんでいる様子を見て、施設全体で子どもと職員の関わりを大切にしていると感じました。

私は今回の実習を通して、子ども一人ひとりの個性を大切にしながら、それぞれの課題を踏まえて先を見通した支援をする重要性を学ぶことができました。

教育実習(栄養教諭)を通して学んだこと 栄養教諭の魅力を感じ

健康栄養学科 食物栄養専攻2年A組 細島 玲奈



私は母校である古河市立八保小学校で栄養教諭の教育実習に臨みました。

私が担当した6年1組は、雰囲気は和やかで、元気に挨拶してくれる児童が多く、休み時間には一緒に遊び、児童と関わるのが楽しかったです。

研究授業は「お魚博士になろう」というテーマとし、事前アンケートでクラスの児童が興味をもち積極的に参加できるように、板書を用

いる教材を工夫しました。また、主体的に学べるように発表の時間を十分に取入れた結果、まとめのワークシートから、食生活や栄養の正しい知識について興味・関心を持たせることができましたと感じました。

教育実習前は児童たちに馴染めるか、授業を上手に進められるか不安でしたが、児童との関わりや先生方からいただいたご指導により、非常に充実した学びの多い時間となりました。

教育実習を通して、栄養教諭の魅力を感じ、実習を通じて、児童が興味をもち積極的に参加できるように、板書を用

校外実習を通して学んだこと 情報共有、連携の重要性実感

健康栄養学科 食物栄養専攻2年A組 櫻井 鈴



私は、社会福祉法人単人会特別養護老人ホーム鴻巣まきは園で校外実習をさせていただきました。

実習では利用者の方々の摂食嚥下機能に応じた食事を提供するため、食材の切り方や大きさ、調理法が異なることを学び、また、調理補助作業だけでなく、各ユニットへの食事の配膳、給食管理業務上の事務作業についても経験させていただきました。施設では栄養士を目標として精進してまいります。

また、利用者の方の体調や栄養状態の把握は、給食サービス課だけでなく介護サービス課など施設全体で情報共有されており、多職種連携の重要性を強く実感することができました。

私は、国際学院埼玉短期大学で学ぶにあたりご指導いただきました先生方に深く感謝し、校外実習で学んだことを活かして、心身と健康の支えになれるよう栄養士を目指して精進してまいります。

校外実習を通して学んだこと 実習先に無事内定

健康栄養学科 調理製菓専攻2年C組 平子 美咲



私は東京都台東区の上野精養軒で校外実習を体験させていただきました。実習では現場での盛り付けの仕事、調理の基礎的なことなどを学びました。

実際の調理現場は学内実習とは違い、準備する食数が多く、初めて見る調理器具を使っていたり、調理器具が多いため、初めは覚えが難しかったです。初めは教えていただいたこと一つ一つすのにも時間がかかってしまっていました。

徐々に時間や周りを気にしながら作業を行えるようになり自分の成長を感じることができました。スタッフの方々が話しかけて下さったり、アドバイスをもらったりも励みになりました。

2年次になると校外実習での経験が参考になり、この環境で働きたいと考え、実習先の就職採用試験にエントリーし、無事内定をいただくことができました。

今回の実習で得たものを活かしながら自分を高めていけるよう努力を続け、常に向上心を持って国際学院埼玉短期大学で学んだことを活かして積極的に取り組んでいきます。

令和5年度 第25期生国内研修

日本の多彩さに触れる

広島、岡山、兵庫、大阪で実施

9月24日から27日にかけて、3泊4日の国内研修が実施された。行先は山陽と関西、具体的には広島、岡山、兵庫、大阪である。初日は広島市の平和記念公園をめぐり、2日目は広域別研修



原爆ドームで説明を聞く生徒

で神戸泊、3日目はユニバーサルスタジオジャパン、4日目は大阪市街での別研修という行程だ。昨年度は行先も分散しての2泊3日であったから、行先を絞ったこと、より規模が大きくなったことが主な変更点だ。

直前まで感染症流行や長く続く猛暑日に苦しめられることになった。環境が整わなければ計画が立てられない。健康を維持して行程を終えることが高いハードルであった。

計画の途中から、国内の「街の多彩さ」について考えるようになった。東京も大阪も大都市で、人口密度や経済規模はすぐに調べればわかるのだが、そのありようは異なる。東日本と西

日本は違うし、大阪と神戸も違うし、ミナミとキタも違う。地元にとどまっている限り、日本はのんびんだらりとした一様な光景が広がっているものと錯覚してしまうが、実際に訪れてみるとそのカラフルさが気が付く。今回の研修は、その多彩さをコロナ世代に示すものと位置づけられよう。

今回の行程は、実は3年前から計画していた。ポイントの一つは交通手段。新幹線とバスはもちろんだが、内陸であり地下鉄のない埼玉県民に、湾岸道路を移動したり地下鉄や路面電車に乗ったりといった、物珍しい経験ができるようにプログラムされている。

ところが、トラブルなく行動するのは大変だ。道中

で生徒に伝えた話だが、こうした研修は教育効果が高いものの、世間に迷惑をかけてまで実施する必要はないというのが持論である。一例を挙げる。団体客は、駅のホームでエスカレーターを使用しないのがマナーである。団体がエスカレーターを利用すると、一般客がその間ずっとエスカレーターを利用できなくなるからだ。駅員は、団体客には駅のホームが通常利用できるように、それを妨げないような行動をしてほしいと願っている。我々、団体はそれを承知の上で行動する。

クラブ活動報告

国体三段跳で逆転優勝

高校3年A組 田口 侑楽



私は10月15日に鹿児島県で行われた国民体育大会に三段跳で出場しました。今大会は8月に行われたインターハイで達成することが出来なかった13mを跳び日本高校新記録を樹立すること、そして優勝を果たし埼玉県に貢献するという目標を掲げました。試合前の練習や当日のアップでは今まで感じたことのないくらい的好感触を得

て、好記録を狙えるだけの準備は出来ていると自信を持って試合に望むことが出来ました。

迎えた試合、1、2本目はフールで記録を残すことができませんでした。決勝に進むには3本目の跳躍で12mを超え8位以上の順位にしなければいけません。調子は良かったのですが、全国という舞台で2本連続フールをしてしまい、かなり不安や焦りが大きかったです。3本目は確実に記録を残して決勝に進む記録を出すという気持ちで挑みました。その3本目は踏切板から30cm手前

くらいで踏み切り、風も強かったため、焦りがありません。足が伸びた感じが良かったです。決勝に進むには3本目の跳躍で12mを超え8位以上の順位にしなければいけません。調子は良かったのですが、全国という舞台で2本連続フールをしてしまい、かなり不安や焦りが大きかったです。3本目は確実に記録を残して決勝に進む記録を出すという気持ちで挑みました。その3本目は踏切板から30cm手前

の差は32cmもありました。足の状態のことが良くないこともあり逆転は厳しいのでは無いかと不安が募りました。しかし、絶対に勝つという強い気持ちを持って弱気にならないように気持ちを切り替えて6本目に挑みました。

しかしこの3本目でバランスを崩した際に足首を痛めてしまいました。強い痛みはなかったのですがあまりに足に力が入らない感じがしました。そこですぐに役員の方にテーピングを巻いて貰えるようお願いをしました。そのため4本目の試技には間に合いませんでした。5本目はフールだったのですがやはり足を気にしてしまい距離はあまり出ていないようでした。この時点では7位でトップと

信の獲得につながったのから幸いだ。

期待に満ちた研修内容

高校2年G組 小高 悠



私達第2学年は、9月24日から27日までの4日間、広島・神戸・大阪での国内研修に行つて参りました。

今年度は、新型コロナウイルスによる規制が緩和されたことにより、私達が中学の時にできなかった宿泊の経験やグループでの自由行動などが実施でき、今まで以上に期待に満ちた研修となりました。

1日目は広島を訪れ、平和記念公園ではガイドさんの説明を受け、原爆について学びました。これまでも

の獲得につながったのから幸いだ。

期待に満ちた研修内容

私達は、陰ながら応援してくれたいと思います。最後まで成し遂げた仲間たち、この研修に関わった全ての人に心から感謝いたします。

最後に、私達に学びの機会を与え、ご指導くださった

令和5年度海外研修

現地に行つたからこそ学べたこと

高校2年K組 入江 瑞枝

私は、11月12日から2泊4日の海外研修で、マレーシアに行つてきました。

インドゥ教の聖地であるパツ洞窟など、様々な観光名所を回ってきました。特に印象に残ったのは、「パツ洞窟」です。272段ある階段の前にはヒンドゥ教の軍神ムルガンの巨大な像があり、圧巻でした。

その階段を上ると頂上が鍾乳洞になっていて、とても神秘的でした。建物や階段の色もとてもカラフルで、1対1でデザインの違いが感じられました。日本の宗教との違いを感じました。

最終日には、王立アラムシャヤ中等学校の生徒さん

と交流の時間をもちました。

私にとって、今回の研修が初めての海外だったことで、楽しみでもあり、食事や言語の面で不安もありました。でも、「この料理を試してみよう」「店員さんに質問してみよう」と、友達と一緒に挑戦してみたことで、多くの体験ができて、とても良い思い出を作ることができました。

最後に、今回の研修で学んだことを活かして、これからも様々なことに挑戦していきたいです。

達成することができ、埼玉県に貢献することが出来たことが嬉しかったです。また、今シーズンはU20日本選手権、インターハイ、そして国体と全国大会を全て優勝で終えることが出来ました。このような結果を残すことが出来たことは、顧問の先生を始めとする埼玉

県コーチの方々、仲間のサポートや応援のおかげだと考えています。私は大学進学後も陸上競技を続けるので、これからも日々支えて下さる方々への感謝の気持ちを忘れずにたくさんの方から応援される選手となれるように努力していきます。

達成することができ、埼玉県に貢献することが出来たことが嬉しかったです。また、今シーズンはU20日本選手権、インターハイ、そして国体と全国大会を全て優勝で終えることが出来ました。このような結果を残すことが出来たことは、顧問の先生を始めとする埼玉

県コーチの方々、仲間のサポートや応援のおかげだと考えています。私は大学進学後も陸上競技を続けるので、これからも日々支えて下さる方々への感謝の気持ちを忘れずにたくさんの方から応援される選手となれるように努力していきます。

達成することができ、埼玉県に貢献することが出来たことが嬉しかったです。また、今シーズンはU20日本選手権、インターハイ、そして国体と全国大会を全て優勝で終えることが出来ました。このような結果を残すことが出来たことは、顧問の先生を始めとする埼玉

県コーチの方々、仲間のサポートや応援のおかげだと考えています。私は大学進学後も陸上競技を続けるので、これからも日々支えて下さる方々への感謝の気持ちを忘れずにたくさんの方から応援される選手となれるように努力していきます。

達成することができ、埼玉県に貢献することが出来たことが嬉しかったです。また、今シーズンはU20日本選手権、インターハイ、そして国体と全国大会を全て優勝で終えることが出来ました。このような結果を残すことが出来たことは、顧問の先生を始めとする埼玉

県コーチの方々、仲間のサポートや応援のおかげだと考えています。私は大学進学後も陸上競技を続けるので、これからも日々支えて下さる方々への感謝の気持ちを忘れずにたくさんの方から応援される選手となれるように努力していきます。

達成することができ、埼玉県に貢献することが出来たことが嬉しかったです。また、今シーズンはU20日本選手権、インターハイ、そして国体と全国大会を全て優勝で終えることが出来ました。このような結果を残すことが出来たことは、顧問の先生を始めとする埼玉

県コーチの方々、仲間のサポートや応援のおかげだと考えています。私は大学進学後も陸上競技を続けるので、これからも日々支えて下さる方々への感謝の気持ちを忘れずにたくさんの方から応援される選手となれるように努力していきます。

達成することができ、埼玉県に貢献することが出来たことが嬉しかったです。また、今シーズンはU20日本選手権、インターハイ、そして国体と全国大会を全て優勝で終えることが出来ました。このような結果を残すことが出来たことは、顧問の先生を始めとする埼玉

県コーチの方々、仲間のサポートや応援のおかげだと考えています。私は大学進学後も陸上競技を続けるので、これからも日々支えて下さる方々への感謝の気持ちを忘れずにたくさんの方から応援される選手となれるように努力していきます。

達成することができ、埼玉県に貢献することが出来たことが嬉しかったです。また、今シーズンはU20日本選手権、インターハイ、そして国体と全国大会を全て優勝で終えることが出来ました。このような結果を残すことが出来たことは、顧問の先生を始めとする埼玉

達成することができ、埼玉県に貢献することが出来たことが嬉しかったです。また、今シーズンはU20日本選手権、インターハイ、そして国体と全国大会を全て優勝で終えることが出来ました。このような結果を残すことが出来たことは、顧問の先生を始めとする埼玉

県コーチの方々、仲間のサポートや応援のおかげだと考えています。私は大学進学後も陸上競技を続けるので、これからも日々支えて下さる方々への感謝の気持ちを忘れずにたくさんの方から応援される選手となれるように努力していきます。

達成することができ、埼玉県に貢献することが出来たことが嬉しかったです。また、今シーズンはU20日本選手権、インターハイ、そして国体と全国大会を全て優勝で終えることが出来ました。このような結果を残すことが出来たことは、顧問の先生を始めとする埼玉

県コーチの方々、仲間のサポートや応援のおかげだと考えています。私は大学進学後も陸上競技を続けるので、これからも日々支えて下さる方々への感謝の気持ちを忘れずにたくさんの方から応援される選手となれるように努力していきます。

達成することができ、埼玉県に貢献することが出来たことが嬉しかったです。また、今シーズンはU20日本選手権、インターハイ、そして国体と全国大会を全て優勝で終えることが出来ました。このような結果を残すことが出来たことは、顧問の先生を始めとする埼玉

県コーチの方々、仲間のサポートや応援のおかげだと考えています。私は大学進学後も陸上競技を続けるので、これからも日々支えて下さる方々への感謝の気持ちを忘れずにたくさんの方から応援される選手となれるように努力していきます。

達成することができ、埼玉県に貢献することが出来たことが嬉しかったです。また、今シーズンはU20日本選手権、インターハイ、そして国体と全国大会を全て優勝で終えることが出来ました。このような結果を残すことが出来たことは、顧問の先生を始めとする埼玉

県コーチの方々、仲間のサポートや応援のおかげだと考えています。私は大学進学後も陸上競技を続けるので、これからも日々支えて下さる方々への感謝の気持ちを忘れずにたくさんの方から応援される選手となれるように努力していきます。

達成することができ、埼玉県に貢献することが出来たことが嬉しかったです。また、今シーズンはU20日本選手権、インターハイ、そして国体と全国大会を全て優勝で終えることが出来ました。このような結果を残すことが出来たことは、顧問の先生を始めとする埼玉

県コーチの方々、仲間のサポートや応援のおかげだと考えています。私は大学進学後も陸上競技を続けるので、これからも日々支えて下さる方々への感謝の気持ちを忘れずにたくさんの方から応援される選手となれるように努力していきます。

達成することができ、埼玉県に貢献することが出来たことが嬉しかったです。また、今シーズンはU20日本選手権、インターハイ、そして国体と全国大会を全て優勝で終えることが出来ました。このような結果を残すことが出来たことは、顧問の先生を始めとする埼玉

県コーチの方々、仲間のサポートや応援のおかげだと考えています。私は大学進学後も陸上競技を続けるので、これからも日々支えて下さる方々への感謝の気持ちを忘れずにたくさんの方から応援される選手となれるように努力していきます。

達成することができ、埼玉県に貢献することが出来たことが嬉しかったです。また、今シーズンはU20日本選手権、インターハイ、そして国体と全国大会を全て優勝で終えることが出来ました。このような結果を残すことが出来たことは、顧問の先生を始めとする埼玉

達成することができ、埼玉県に貢献することが出来たことが嬉しかったです。また、今シーズンはU20日本選手権、インターハイ、そして国体と全国大会を全て優勝で終えることが出来ました。このような結果を残すことが出来たことは、顧問の先生を始めとする埼玉

県コーチの方々、仲間のサポートや応援のおかげだと考えています。私は大学進学後も陸上競技を続けるので、これからも日々支えて下さる方々への感謝の気持ちを忘れずにたくさんの方から応援される選手となれるように努力していきます。

達成することができ、埼玉県に貢献することが出来たことが嬉しかったです。また、今シーズンはU20日本選手権、インターハイ、そして国体と全国大会を全て優勝で終えることが出来ました。このような結果を残すことが出来たことは、顧問の先生を始めとする埼玉

県コーチの方々、仲間のサポートや応援のおかげだと考えています。私は大学進学後も陸上競技を続けるので、これからも日々支えて下さる方々への感謝の気持ちを忘れずにたくさんの方から応援される選手となれるように努力していきます。

達成することができ、埼玉県に貢献することが出来たことが嬉しかったです。また、今シーズンはU20日本選手権、インターハイ、そして国体と全国大会を全て優勝で終えることが出来ました。このような結果を残すことが出来たことは、顧問の先生を始めとする埼玉

県コーチの方々、仲間のサポートや応援のおかげだと考えています。私は大学進学後も陸上競技を続けるので、これからも日々支えて下さる方々への感謝の気持ちを忘れずにたくさんの方から応援される選手となれるように努力していきます。

達成することができ、埼玉県に貢献することが出来たことが嬉しかったです。また、今シーズンはU20日本選手権、インターハイ、そして国体と全国大会を全て優勝で終えることが出来ました。このような結果を残すことが出来たことは、顧問の先生を始めとする埼玉

県コーチの方々、仲間のサポートや応援のおかげだと考えています。私は大学進学後も陸上競技を続けるので、これからも日々支えて下さる方々への感謝の気持ちを忘れずにたくさんの方から応援される選手となれるように努力していきます。

達成することができ、埼玉県に貢献することが出来たことが嬉しかったです。また、今シーズンはU20日本選手権、インターハイ、そして国体と全国大会を全て優勝で終えることが出来ました。このような結果を残すことが出来たことは、顧問の先生を始めとする埼玉

県コーチの方々、仲間のサポートや応援のおかげだと考えています。私は大学進学後も陸上競技を続けるので、これからも日々支えて下さる方々への感謝の気持ちを忘れずにたくさんの方から応援される選手となれるように努力していきます。

達成することができ、埼玉県に貢献することが出来たことが嬉しかったです。また、今シーズンはU20日本選手権、インターハイ、そして国体と全国大会を全て優勝で終えることが出来ました。このような結果を残すことが出来たことは、顧問の先生を始めとする埼玉

県コーチの方々、仲間のサポートや応援のおかげだと考えています。私は大学進学後も陸上競技を続けるので、これからも日々支えて下さる方々への感謝の気持ちを忘れずにたくさんの方から応援される選手となれるように努力していきます。

達成することができ、埼玉県に貢献することが出来たことが嬉しかったです。また、今シーズンはU20日本選手権、インターハイ、そして国体と全国大会を全て優勝で終えることが出来ました。このような結果を残すことが出来たことは、顧問の先生を始めとする埼玉

達成することができ、埼玉県に貢献することが出来たことが嬉しかったです。また、今シーズンはU20日本選手権、インターハイ、そして国体と全国大会を全て優勝で終えることが出来ました。このような結果を残すことが出来たことは、顧問の先生を始めとする埼玉

県コーチの方々、仲間のサポートや応援のおかげだと考えています。私は大学進学後も陸上競技を続けるので、これからも日々支えて下さる方々への感謝の気持ちを忘れずにたくさんの方から応援される選手となれるように努力していきます。

達成することができ、埼玉県に貢献することが出来たことが嬉しかったです。また、今シーズンはU20日本選手権、インターハイ、そして国体と全国大会を全て優勝で終えることが出来ました。このような結果を残すことが出来たことは、顧問の先生を始めとする埼玉

県コーチの方々、仲間のサポートや応援のおかげだと考えています。私は大学進学後も陸上競技を続けるので、これからも日々支えて下さる方々への感謝の気持ちを忘れずにたくさんの方から応援される選手となれるように努力していきます。

達成することができ、埼玉県に貢献することが出来たことが嬉しかったです。また、今シーズンはU20日本選手権、インターハイ、そして国体と全国大会を全て優勝で終えることが出来ました。このような結果を残すことが出来たことは、顧問の先生を始めとする埼玉

県コーチの方々、仲間のサポートや応援のおかげだと考えています。私は大学進学後も陸上競技を続けるので、これからも日々支えて下さる方々への感謝の気持ちを忘れずにたくさんの方から応援される選手となれるように努力していきます。

達成することができ、埼玉県に貢献することが出来たことが嬉しかったです。また、今シーズンはU20日本選手権、インターハイ、そして国体と全国大会を全て優勝で終えることが出来ました。このような結果を残すことが出来たことは、顧問の先生を始めとする埼玉

県コーチの方々、仲間のサポートや応援のおかげだと考えています。私は大学進学後も陸上競技を続けるので、これからも日々支えて下さる方々への感謝の気持ちを忘れずにたくさんの方から応援される選手となれるように努力していきます。

達成することができ、埼玉県に貢献することが出来たことが嬉しかったです。また、今シーズンはU20日本選手権、インターハイ、そして国体と全国大会を全て優勝で終えることが出来ました。このような結果を残すことが出来たことは、顧問の先生を始めとする埼玉

県コーチの方々、仲間のサポートや応援のおかげだと考えています。私は大学進学後も陸上競技を続けるので、これからも日々支えて下さる方々への感謝の気持ちを忘れずにたくさんの方から応援される選手となれるように努力していきます。

達成することができ、埼玉県に貢献することが出来たことが嬉しかったです。また、今シーズンはU20日本選手権、インターハイ、そして国体と全国大会を全て優勝で終えることが出来ました。このような結果を残すことが出来たことは、顧問の先生を始めとする埼玉

県コーチの方々、仲間のサポートや応援のおかげだと考えています。私は大学進学後も陸上競技を続けるので、これからも日々支えて下さる方々への感謝の気持ちを忘れずにたくさんの方から応援される選手となれるように努力していきます。

達成することができ、埼玉県に貢献することが出来たことが嬉しかったです。また、今シーズンはU20日本選手権、インターハイ、そして国体と全国大会を全て優勝で終えることが出来ました。このような結果を残すことが出来たことは、顧問の先生を始めとする埼玉

着いた瞬間がすべては英語の世界

令和5年度 第1学年TGG語学研修

積極的に非日常空間味わう

体験型施設できっかけ作り

TGGとは、東京都教育委員会と株式会社TOKYO GLOBAL GATEWAYが提供する体験型英語教育施設です。グローバル化が進むなか、日本のTOEFLスコアランキングが、アジア圏30カ国中27位(2014年)という結果からうかがえる通り、日本人のグローバルなコミュニケーション能力には、大きな課題があるとされています。将来、グローバル社会で活躍する子どもたちが、英語を使用する楽しさや必要性を体感し、英語学習の意欲向上のきっかけ作りとして、TGGは存在しています。

9月30日、夏の暑さが残りつつも、少しずつ高くなる空には巻雲が見られ、残暑のなかに潜む小さな秋の気配を感じながら、研修先であるTGGを訪れました。

水先案内人として、エージェントと呼ばれる「イングリッシュ・スピーカー」が、8名1班で構成された生徒たちをサポートし、英語「で」コミュニケーションを促す指導の下、昼食を挟み2つのプログラムに参加しました。

「アトラクションプログラム」では、エアポートゾーン・ホテルゾーン・トラベルゾーンがあり、まるで海外にいるかのような疑似体験ができました。その空間では、海外の日常生活で出会う様々な課題が設定され、必然的な英語のやり取りが促されました。

「アクティブイマージョンプログラム」では、「橋を制作して強度を競おう」や「ニュース番組を作ろう」のような専門的な内容について学びながら、課題を解決するために仲間と協力して英語「で」コミュニケーションを取ることが求められました。

いずれのプログラムも、生徒が前のめりになって英語を聞いていたり、ある課題に協働して取り組んだりする姿が、積極的に非日常空間を味わう姿が、とても印象的でした。また、気がつけば自ら率先して英語を話し、英語で相互理解が生まれた結果、「伝わりが促されました」。

「アトラクションプログラム」では、エアポートゾーン・ホテルゾーン・トラベルゾーンがあり、まるで海外にいるかのような疑似体験ができました。その空間では、海外の日常生活で出会う様々な課題が設定され、必然的な英語のやり取りが促されました。

クラブ活動報告

悔しさバネに全国大会優勝

高校3年B組 大山 誠道



私は今年の7月に広島県で行われた全国高校選手権大会に出場しました。去年も全国大会に出場しましたが、とても悔しい結果で終わってしまいました。その悔しさをバネに、この1年間部員たちと切磋琢磨し、コミュニケーション能力や技術面などを見直し、個人個人で磨きをかけていきました。

また、私は中学生から射撃をやっており、母は毎週練習に連れて行ってくださいました。団体戦では準優勝することができました。この結果になったのは、3年間指導してくださった、コーチや顧問の先生方、部員、家族、たくさんの応援をして下さった方々、設備を整えて下さっている国際学院高校などの様々な支えがあり、優勝することができたのだと思っています。本当に感謝しています。ですが、部の目標としている団体優勝が取れず、部長として去年卒業した先輩方の無念も晴らすことができず、悔しい思いをしました。この悔しい気持ちを忘れず、今後の大会に挑んでいきたいです。

また、今年も国民体育大会にも出場しました。団体は、開会式に出場し、天皇皇后両陛下がご出迎えて下さる中、行進をしました。会場の大きな拍手に包まれました。今までの感動を覚えました。国体の開会式でしか味わえない経験ができたこと、埼玉県の代表としての



エアライフル個人戦優勝

広島で世界の平和願う

中学2年1組 山下 夏空

私は10月3日から6日まで広島と京都と奈良へ、修学旅行に行きました。1日目は、広島の厳島神社と平和記念公園に行きました。厳島神社の海上に浮かぶように見える社殿や大鳥居の美しさは、多くの観光客に愛されています。去年の修学旅行では、修復工事で鳥居を見ることができなかったそうなので、今年も鳥居を見ることができました。

2日目は、京都の清水寺と二条城を見ました。清水寺は約172本の柱を支えられており、耐震性に優れた「懸造り」という日本古来の造り方で建てられ、雨除けなどを用いて柱を長持ちさせる工夫がされています。

二条城は、徳川家の繁栄と衰微を象徴する歴史的に貴重なお城で、もともと京都御所の守護や将軍の宿泊所として使われていました。また、15代将軍の徳川慶喜が大政奉還し、徳川幕府の終焉を宣言したお城でもあります。歩くたびに音が鳴る驚きの廊下がとても面白かったです。



射撃部

先輩に学び伝統受け継ぐ

中学3年1組 杉山 怜

7月に行われた宮城で行われた全日本ライフル射撃競技選手権大会では私は高校生の先輩方と一緒に参加させていただきました。私にとって初めての長い遠征でした。そこで先輩方の本番の強さやチームの仲の良さなどがあって、一番印象に残りました。遠征という自分も選手がいたのでよく観察して自分の撃ち方の改善できるところがたくさんありました。新たな目標を見ることができた大会でした。

8月には朝霞市で行われた第11回全日本小学生ライフル射撃選手権大会兼TOKYO 2020メモリアル大会があり、私は中学生の部で男女混合7位を取ることができました。この大会で中学2年生のほとんどが初めての大会でした。私は部長として大会の動きを見て後輩たちに指示を出しながら動く難しさを知りました。

また、広島県で行われた全国大会の先輩方の報告を聞いて、先輩方の成績のすごさや、代々受け継がれた全国優勝という伝統を私も受け継ぎたいと思いました。

来年、私は高校生になり、いままでもっと多くの大会があると思います。そこで出会う人や経験したことを、後から入学してくる後輩たちにこの射撃部の伝統を継いでいきたいです。



主体性を持った行動に 訪問先から賞賛の声

通信制課程宿泊研修

通信制課程では年に一度、野外活動の単位でもある総合的探究の時間の中で宿泊研修を実施しています。本年度は軽井沢で自然体験を、9月11日、9月13日の2泊3日で行いました。初日は、富岡製糸場へ向かい、班に分かれボランティアガイドの方々によるガイドツアーを行い、解散後はバスの出発時間まで班での自由行動となりました。各々真剣にメモを取り、ガイドの方に多くの質問をするなど、製糸場の歴史に真剣に取り組み生徒達の姿が見受けられました。おきの見受けられました。おきの見受けられました。おきの見受けられました。

2日目は鬼押出し園で班での散策となりました。今年の9月は埼玉ではまだ猛暑が続きましたが、軽井沢独特の涼やかな気候と壮大な景色の中、自然環境に対する知識や保護活動の重要性を学びました。次にバスでタリアセンに移動し、景観の良い塩尻湖が中央に位置する豊かな森林地帯の中でバーベキューをし、その後ポートを漕ぐなど班別の自由行動となりました。普段の学校生活ではあまり接点のない生徒達が同じテーブルでバーベキューをし、談笑しながら交流を深める時間を過ごすことができました。

最終日は旧軽井沢銀座で班での自由行動を行い、鹿島の森で集合し洋食テールマナー教室を学びながらの昼食、その後、バスでこのんにやぐり体験の後、館内の自由見学となりました。その後バス内で解散式を行い、大宮駅西口で解散です。

今年度は、宿泊研修実行委員会が伝達事項や点呼、レクリエーション企画などを行い、班長が責任を持って随所でこの実行委員会報告を行う体制となりました。これが実施できた背景として、令和3年度からスクリーン以外の登校日を週3日増やした週4日制となり、生徒達がより意欲的に学校生活を送っていることが挙げられます。出発式で大野校長先生より「主体性を持つことの重要性」のお話を頂きました。

そのお話し通り、各自が主体性を持って行動できた結果、各訪問地の関係者から生徒に対して多くのお褒めの言葉を頂くことができました。ホテルスタッフから、「夕食後も綺麗に片づけなどもしてくれて、マナーが良い」とのお言葉、そして同行頂いた旅行社の方からは、「時間を良く守ってくれる、学校の雰囲気が良い」などのお言葉をいただきました。教員として誇らしく感じました。

生徒達には、この宿泊研修で得た成功体験を基に今後更に飛躍してくれることを期待しています。



鬼押出し園で記念撮影

4年ぶりに両学科合同で開催

仲間と協力、誰もが楽しめる大会に

短大体育大会



短大体育大会のイベント「大縄跳び」で大いに盛り上がる

体育大会委員長

健康栄養学科2年A組 松本実菜代

昨年はコロナ禍で声を出して応援することが出来なかったのですが、今年度の体育大会は、学院創立60周年という節目の年に、4年ぶりに両学科合同で開催することができました。

私が体育大会委員長を務めるにあたって意識していたことは、先輩方が築いてきた体育大会の伝統を引き継ぎ、誰もが楽しかったと言える体育大会にすることです。

体育大会委員長を務めるにあたって、初めての事や力不足な所もありました。

この度の体育大会委員長を経験したことは私にとっても忘れられない記憶になりました。

中高体育祭

高校 フェアプレー精神に拍手

中学 団結力を胸に選手を応援

5月30日、31日にかけて、国際学院中学校高等学校が実施された。天候が危ぶまれたが、何とかすべての種目を実施することができた。

高等学校は各学年を3色に分け、縦割りの3色対抗戦を行った。今年度は記念となる体育祭であったが、初めてクラスTシャツが導入された。各クラスに割り振られた色を元に、オリジナルティ溢れる作品が多数見られた。任意作成ではあったが、体育祭を盛り上げる一助となった。また、今回特に印象的であったのが、各競技におけるフェアプレー精神である。個人種目はもちろんのこと、団体



各団体全員一丸で取り組み

健康栄養学科調理製菓専攻

2年C組 高山 愛

今年度の短期大学の五峯祭は、11月12日に「笑顔、Power of Smile」をスローガンに掲げて開催されました。創立60周年記念にあたる今回、4年ぶりに制限や条件なく無事に開催することができたことを心から嬉しく思います。



一般の方を招いての開催は2年生も初めてだったため、色々試行錯誤をしながら各団体準備を進めてきました。

最後にありますが、2023年度五峯祭を開催するにあたり、ご指導ご支援を賜りました関係各位の皆様、この場を借りまして心から御礼申し上げます。心に残る大切な思い出となりました。ありがとうございました。

中高五峯祭

準備スパン伸長で企画完遂へ

後夜祭を生徒主体で実施

9月9日(土)、10日(日)の学院創立60周年記念第26回五峯祭は、数年振りに一般来場者に門戸を開く形で開催



短大五峯祭入場門



中高五峯祭でのイベント

運営ではありましたが、多くの方々にご来場いただき、コロナ前と同じかそれを上回る活況が戻ってまいりました。

今年度、大きく変更を加えたのは準備スパンです。まず五峯祭実行委員会そのものを後期から前期へとつ

また、7月と9月の土曜日に全体準備日を入れました。開催直前ではなく、その前から時間をかけて企画を揉むことで完遂できるプロジェクトに変えていく。

このような社会で当然のように行われているプロジェクトマネジメントの方法論をとりました。本祭のテーマには「青春」という言葉が入っていますが、いつの時代も青春はそれを寓意する側の確かな理性に支えられています。

こうした根本的な変更を差し置いても、後夜祭を生徒主体で実施する等、多くのチャレンジがありました。

また、食事の場は提供に関わって下さった方々へはもちろん、一緒に食事をする相手への思いやりと感謝の気持ちからなっていると気づくことができました。

短大国内研修

学科の壁越え友情を深める

健康栄養学科2年B組 紺野 友香



山寺(宝珠山立石寺)の五大明王を祀って天下泰平を祈る道場「五大堂」での記念撮影

5月22日、23日の2日間で仙台へ研修に行きました。1日目は山寺、七夕ミュージアムへ行き、笹かま作り体験をしました。

2日目は松島防災センターに行った後、フェリーに乗り、その後別行動をしました。

私たちの代は、高校生の頃に宿泊を伴う研修がなかったため、このような機会をいただけてとても感謝しています。



中学校は例年通り紅白に分かれて学年を縦割りにし、2色対抗戦を行った。

今年度は2・3年生の2学年で実施されたが、人数の少なさを感じさせない頑張りを見せた。

西洋料理テーブルマナー講座

礼儀作法と思いやり、感謝の心で

健康栄養学科 食物栄養専攻 1年A組 益子 育美



パレスホテル大宮にて「西洋料理テーブルマナー講座」が行われました。

不慣れなことが多く、緊張する場面もありました。



コロナウイルスが流行る中短期大学生生活が始まり、2年生に上がるとマスクが解禁され、お昼ご飯を友人達と机を囲んで食べることも許されるようになりまし

短期大学学友会活動報告

創立60周年に様々な企画と体験

学友会会長 健康栄養学科2年A組 松澤 梨紗

毎日通っていたとして慣れない短期大学生生活は、課題に追われ、実習に追われたりととても大変で、学校行事を全力で楽しむことが高校生活までとは違い難しくなっていました。ですが、短期大学生生活は2年しかなく、一日一日の生活や五峯祭や体育大会等の行事をどうすればもっと楽しんで貰えるのだろうかかと学友会として考え、行動しました。

今年創立60周年ということで、新たな一歩を踏み出す年でした。創立60周年をキーワードに、体育大会

は、課題に追われ、実習に追われたりととても大変で、学校行事を全力で楽しむことが高校生活までとは違い難しくなっていました。ですが、短期大学生生活は2年しかなく、一日一日の生活や五峯祭や体育大会等の行事をどうすればもっと楽しんで貰えるのだろうかかと学友会として考え、行動しました。

今年創立60周年ということで、新たな一歩を踏み出す年でした。創立60周年をキーワードに、体育大会

は、課題に追われ、実習に追われたりととても大変で、学校行事を全力で楽しむことが高校生活までとは違い難しくなっていました。ですが、短期大学生生活は2年しかなく、一日一日の生活や五峯祭や体育大会等の行事をどうすればもっと楽しんで貰えるのだろうかかと学友会として考え、行動しました。

今年創立60周年ということで、新たな一歩を踏み出す年でした。創立60周年をキーワードに、体育大会

は、課題に追われ、実習に追われたりととても大変で、学校行事を全力で楽しむことが高校生活までとは違い難しくなっていました。ですが、短期大学生生活は2年しかなく、一日一日の生活や五峯祭や体育大会等の行事をどうすればもっと楽しんで貰えるのだろうかかと学友会として考え、行動しました。

今年創立60周年ということで、新たな一歩を踏み出す年でした。創立60周年をキーワードに、体育大会

は、課題に追われ、実習に追われたりととても大変で、学校行事を全力で楽しむことが高校生活までとは違い難しくなっていました。ですが、短期大学生生活は2年しかなく、一日一日の生活や五峯祭や体育大会等の行事をどうすればもっと楽しんで貰えるのだろうかかと学友会として考え、行動しました。

おもちゃインストラクター養成講座開催

身近な遊びや海外の玩具体験

学生43名に「認定証」授与



講師による新聞紙遊びの指導の様子

9月11日、第11回「おもちゃインストラクター養成講座」が開催され、国際学院埼玉短期大学の会場へ幼児保育学科の学生43名が集った。

この講座は、認定NPO法人「芸術と遊び創造協会」で、東京都新宿区にある東京おもちゃ美術館と提携して開催される例年人気の講座である。玩具を中心として展開される子どもの遊びと数々の学びによって、幼児保育学科の学生たちが保育者を目指す意識や自覚を高め、質の高い保育者養成に寄与することが期待されている。講座は子どもも理解や遊びのきっかけと工夫

当日は同協会から講師が来場し、珍しい玩具の数々を教室に展示した。学生たちは、講座が始まる前から興味津々に玩具を手に取り、遊び方を模索していた。

この講座で実演される身近な素材を用いた遊びとは、例えば、画用紙・ハサミ・のり、という基本素材と道具を用いてできる「手品カード」や「六角返し」、「数字パズル」、「奇妙な生き物不思議ボール」と呼ばれるもので、日本古来より伝わる遊びのアイデアが詰まっている。また、カッターの持ち方や切り方について具体的な指導を受け、切りやすい方法や効率のよ

い道具の使い方も学んだ。学生たちは「手には2万個のセンサーがついている」といった講師の言葉に驚き、手指を自ら動かして素材に触れたりモノを作ったりすることの重要性を再確認していた。

また、新聞紙一枚でどのような遊びができるか受講者全員で考え、「新聞紙で」とことん遊ぶ」という実践も行われた。ここでは、折る、ちぎる、破る、丸める、などの動作から「新聞紙かくれんぼ」や「新聞紙ボール」、「新聞紙すもむ」、「新聞紙輪投げ」、「新聞紙けんけん」など多様な遊びが提案された。

新聞紙輪投げに紙皿を接着することで、「フリスビー」や「皿回し」に変化した。受講生たちは「うまくできない」「どうしたら成功するのか」と各自苦戦しながら皿回しに挑戦し、新

しい方法を見つけたり教えあったりするなど工夫する力を発揮していた。

また、新聞紙一枚でどのような遊びができるか受講者全員で考え、「新聞紙で」とことん遊ぶ」という実践も行われた。ここでは、折る、ちぎる、破る、丸める、などの動作から「新聞紙かくれんぼ」や「新聞紙ボール」、「新聞紙すもむ」、「新聞紙輪投げ」、「新聞紙けんけん」など多様な遊びが提案された。

「おもちゃインストラクター養成講座」が授与されたが、学生たちは達成感に満ちた笑顔で見せ合う姿があった。受講生からは、「楽しかった！家庭や保育の現場で用いられる素材が、これほど多

く、子どもを引き付けたり夢中にさせるような遊びに対する考え方や方法を学んだ。「実習では自分なりの工夫を加えて身近な素材で遊んでみたい」など、保育者としての自覚や技能の向上に繋げようとする姿も見られた。

この講座ではゲームの優勝者に東京おもちゃ美術館の入場券が授与されるなど、受講者が玩具について引き続き関心を継続するよう工夫がなされている。

魅力を普及し、身近なところでポッチャに親しむ機会を創出するため、ポッチャの県大会に出場する地区大会を実施する団体を募集する案内が本学に届いた。

この「地区大会」とは、市町村、企業、学校、地域スポーツクラブなどが主催する大会のことから学友会

とで国際教育の話はもちろん、それぞれの学校の特徴や教育についての質問、国際学院の学校施設や部活動の案内を行いました。普段の国際交流は英語を使って話しますが、中国語は初めてだったので言語の壁を感じました。こちらも新鮮で貴重な経験でした。

前期は前述した学校全体での成長と自身の成長が重なったと思います。選挙時

高等学校・中学校生徒会活動報告

「新しいひと」の連続

生徒会会長 高校3年B組 大武 真成

令和5年度前期生徒会会長を務めた3年B組の大武真成です。前期生徒会活動

を振り返ると、「新しいひと」の連続でした。今年度はコロナウイルスが5

類感染症の扱いとなり、感染対策がやや緩和されました。5月の体育祭ではク

ラスごとにTシャツを作成してクラスの団結力を深

め、スタンドには数年ぶりに保護者をはじめとした観

客が帰ってきました。声を

ポッチャ地区大会開催

優勝チームは県大会に出場

優勝チームは県大会に出場

また、9月の五峯祭はこれまでと比較して、より盛り上がった文化祭だったと思

います。従来の来場型と

時期を知るものとしては実

に嬉しい限りです。

パークゴルフ体験

秋晴れの下、仲間とプレイ満喫

仲間とプレイ満喫

高等学校通信制課程では、年に一度、3学年合同

で球技大会を行っていました。

今年度は富士見市びん沼自然公園へ行き、「パークゴルフ」を行いました。



パークゴルフは、通常のゴルフよりも短いコースを決められた打数内にカップインを目指すゲームです。参加した生徒のほとんどが未経験者だったため、初

めは打数内に決めることができず、なかなかスコアが伸びませんでした。コースをこなしていくうちにコツをつかんでいき、打数内に決めることができました。

秋晴れで大きく開けた大きな自然の中、生徒たちはエチケットを守り、仲間のプレイを称えあいながら想像以上の盛り上がりを見せ

てくれました。身体を動かして自然を楽しんだり、仲間と声を掛け合うこと、面白さ、大切さなどについて学びました。

この大会のことで、本学は県大会に出場すべく、本年6月29日付けで地区大会を実施する団体として申込を行った。

本学はコロナ禍の令和3年度に体育大会として「ポッチャ大会」を実施した実績があり、また現在も「健康・スポーツ」の授業においてポッチャを行っているため、学生達はポッチャのルールを理解し、ゲーム戦術も踏まえてポッチャを行うことができる環境にある。

こうしたことから学友会が主体となってポッチャ大会を開催し、ポッチャを通じて障がい者スポーツの理解や学外の団体との交流を深めることとした。

本学で行う地区大会の日程は現在調整中で年内に開催する予定で進んでおり、優勝チームは本学代表として県大会の「第4回埼玉県ポッチャ交流大会」に出場する。なお、県大会は令和6年2月10日に埼玉県立武道館で行われる。県大会での本学代表チームの健闘を期待したい。

卒業生近況報告

短大 令和3年度卒業

社会人に大切な3つ

ホテルインターコンチネンタル東京ベイ

櫻井 菜花



私は令和3年に健康栄養学科調理製菓専攻を卒業して港区にあるホテルインターコンチネンタル東京ベイに就職させていただきました。現在2年目でホテル内にあるレストランに勤務しています。このレストランではニューヨークグリル・フレンチのコースを提示するほか、アフタヌーンティーなども人気です。今の主な仕事内容は前菜とデザートを担当です。また、週末には婚礼料理にも携わっています。今後は経験を積み「ソシエ」になること

が今の目標です(ソシエは今の目標です)。そのために現在は、食材に合った焼き方やコースに合わせたベストなタイミングでの料理の提供などを勉強中です。食材の火の入れ方を触った感覚や、フライパンからの煙や音で判断するのが難しく日々繰り返し勉強中です。就職して苦労したことはレストランで使われるフランス語を覚えることでした。食材や器具の名前、数字を覚えて瞬時に動くことが求められるためとても苦

労しました。2年目からは先輩に教えながら作業する難しさを痛感しました。的確な指示やアドバイスをしなければ伝わらないことも多く、会話やコミュニケーションの大切さを痛感しました。社会人になって大切だと強く感じたことが3つあります。1つ目は上司や周り

と協調するためのコミュニケーション能力です。2つ目はチャンスがあれば挑戦する行動力です。3つ目は、失敗に対して、めげずにより良いものに変えていく改善力です。在学生の皆さんは、この3つを日々の授業や生活で高めて欲しいと願

っています。食事を提供するというのは、お客様が喜んでくれるのを実感することができるといいですね。

卒業生近況報告

高校 平成22年度卒業

在学中からの夢を実現

国際学院中学校高等学校養護教諭

福島美都木



私は、平成20年に入学し特別選抜コース(現在のアドバンスコース)に在籍していました。在学中は養護教諭になりたいという夢の実現に向けて日々勉強に励んでいました。特に思い出深いことは、クラスメイトと放課後や休み時間を使っ

て先生方に勉強を教えて頂いたことです。たくさん学び、卒業してから現在に至るまでも価値のあるものとなりました。卒業後も、国際学院でお世話になった先生や友人に近況報告をしたり、今後のライフプランについて相談したりする関係があり、強い絆を感じています。高校での出会いがとても大切な

ものになっていくことは間違いなく、それは私の人生においてなくてはならないものとなりました。後輩の皆様もこれからの日々を過ごす中でたくさんの人と出会ふことがあると思います。一つひとつの出会いをどうか大切にしてください。お互いの努力を認め、応援し、夢を語り合い切磋琢磨できる存在は、「もっと成長させてくれる」と思っています。

私には幼いころからずっと学校の先生になりたいという夢がありましたが、具体的に養護教諭になりたいと考え始めたのは高校生のときでした。職業選択の授業を経て私に向いている職業を客観的にみたことで将来の夢を考えることができました。

この機会には私の人生をとても大きく変えてくれました。国際学院の先生方は幅広い分野の知識を持っているため、細かくアドバイスしてくださり、高校卒業後は埼玉県立大学健康開発学科学科口腔保健科学専攻へ進学しました。大学卒業後は埼玉県の公立小中学校で数年養護教諭として勤務し、令和5年の春から国際学院中学校高等学校で養護教諭として勤務しています。

ベストブック

結城浩 作

「数学ガール」

SBCクリエイティブ



先日、指数関数の授業が終わったあとに、ある生徒から質問を受けました。「指数部分にi(虚数単位)を付けたらどうなりますか?」と。この生徒の質問の意図するところは、オイラーの公式(e^{i\theta} = \cos\theta + i\sin\theta)について知りたいのだとすぐに分かりました。しかし、複素関数、テイラー展開、マクローリン展開は高等学校の範囲外であり、数学III(自然対数の底e・三角関数の導関数、対数関数・指数関数の導関数)も習っていない段階で、10分の休み時間は短く、雰囲気だけ伝える程度の説明しかできませんでしたが、その生徒は満足した様子で

(少なくとも私にはそう映りました) 退出していただきました。最近、数学を題材とした小説や数学の定理などを分かりやすく解説するテレビ番組などを多く目

でも活躍している東京理科大学名誉教授の秋山仁さんが出演したテレビ番組「同名の書籍『皆殺しの数学』」もあります。数学ではありませんが「ガリレオ」などのテレビド

数式の展開が趣味の高校二年生の「僕」と、同級生の才媛「ミルカさん」、一つ後輩の元氣少女「テトラちゃん」、いとこの中学一年生「ユウリ」たち数学ガールが繰り広げる「数学トーク」小説です。数学は厳密な定義が要求される学問ですが、彼らのやりとりの中에서도出てきます。例えば、素数の定義について、

「正の整数pが、1とpのみで割り切れる」は誤りです、正しくは「正の整数pが、1とpのみで割り切れる」という定義が要求される学問ですが、彼らのやりとりの中에서도出てきます。例えば、素数の定義について、

数列やベクトル、三角関数、微分、積分、場合の数、確率、統計などを分かりやすく書いています。大学生以上向けに「フェルマーの最終定理」や「ゲーデルの不完全性定理」「ガロア理論」などもあります。私は学生時代に代数学の研究室に属しており、ガロア理論などを研究していましたが、十分に読み応えのある内容です。

冒頭に紹介したオイラーの公式にe^{i\pi} + 1 = 0を代入することで、オイラーの等式(e^{i\pi} = -1)が得られることは有名ですが、左辺は円周率π、ネイピア数eと虚数単位iで、右辺は整数-1という大変美しい等式です。本学院の学生・生徒たちも、数学を題材にしたこれらの書籍に触れることで、数学の美しさや楽しさ、奥深さなどを知る機会になつてくれると幸いです。

「僕」が数学ガールたちと数学に取り組む物語

「僕」が数学ガールたちと数学に取り組む物語



中学校高等学校学務部長 石部 忠之

中学校高等学校学務部長 石部 忠之

中学生から大人まで幅広く数学を楽しめます

にするようになりまし。比較的有名なものとして「博士の愛した数式」があります。他にも、「浜村渚の計算ノート」や「お任せ! 数学屋さん」などの書籍もあります。また、バンダナを巻いた独特の風貌でテレビなど

ラマで黒板に書かれた数式を見てかっこいいと感じたかたも多くいらつしやると思います。学生・生徒のみならず、数学に興味をもってもらうきっかけとして、数ある数

「正の整数pが、1とpのみで割り切れる」は誤りです、正しくは「正の整数pが、1とpのみで割り切れる」という定義が要求される学問ですが、彼らのやりとりの中에서도出てきます。例えば、素数の定義について、

出したり、複素平面(ガウス平面)を用いて、1のn乗根を図示したり、自然数の正の約数の総和を等比数列の和の公式を用いて説明したりと、その内容は多岐にわたります。ちなみに、「秘密ノート」シリーズは高校生向けに出版されており、



国際学院は建学の精神及び教育方針に基づいた「人づくり教育」を実践し、社会に有意な人材を輩出しております。特に中学校高等学校のユネスコスクール加盟をはじめ、国連グローバル・コンパクトに署名し、GCNJの会員として、GCC及びSDGsの推進に取り組む等、国際社会の中で尊敬され、活躍できる人材の養成に邁進しております。

こうした中、より充実した教育研究や社会貢献活動を実施するためには、施設設備や各種奨学金制度の充実及び教育研究環境の整備等を一層進めていく必要が

機器整備、教育環境を充実

国際社会で活躍できる人材を育成

国際学院は建学の精神及び教育方針に基づいた「人づくり教育」を実践し、社会に有意な人材を輩出しております。特に中学校高等学校のユネスコスクール加盟をはじめ、国連グローバル・コンパクトに署名し、GCNJの会員として、GCC及びSDGsの推進に取り組む等、国際社会の中で尊敬され、活躍できる人材の養成に邁進しております。

こうした中、より充実した教育研究や社会貢献活動を実施するためには、施設設備や各種奨学金制度の充実及び教育研究環境の整備等を一層進めていく必要が

「寄付の募金」として掲載しておりますのでご参照ください。

お問い合わせは、各校の寄付金担当まで。【令和5年度教育研究施設整備、教育研究環境向上等推進事例】

- ①ML(ミュージックラボラトリー) システムの入れ替え
②教室・実習室等空調機新設工事
③施設照明のLED化等
④学生ロッカー室の整備
⑤卒業研究発表会支援
⑥SDGs活動推進経費

- ①照明器具改修工事
②マコトホール、本館軒天改修工事

教育振興資金(寄付金)のお願い

この機会には私の人生をとても大きく変えてくれました。国際学院の先生方は幅広い分野の知識を持っているため、細かくアドバイスしてくださり、高校卒業後は埼玉県公立小中学校で数年養護教諭として勤務し、令和5年の春から国際学院中学校高等学校で養護教諭として勤務しています。

私には幼いころからずっと学校の先生になりたいという夢がありましたが、具体的に養護教諭になりたいと考え始めたのは高校生のときでした。職業選択の授業を経て私に向いている職業を客観的にみたことで将来の夢を考えることができました。

この機会には私の人生をとても大きく変えてくれました。国際学院の先生方は幅広い分野の知識を持っているため、細かくアドバイスしてくださり、高校卒業後は埼玉県公立小中学校で数年養護教諭として勤務し、令和5年の春から国際学院中学校高等学校で養護教諭として勤務しています。